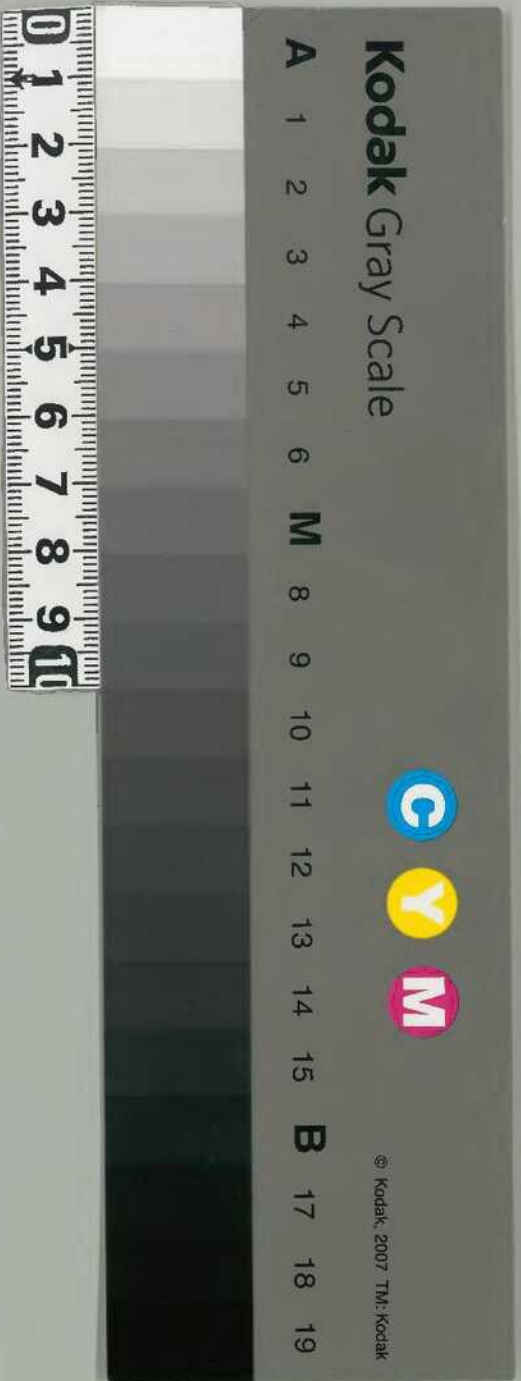


大乗院寺社雜事記 十七

古文書  
二七函共  
五一四號

内閣文庫
番號和 21122
冊數 167 (17)
函號古 27 514

大乗院寺社雜事記



二一九ノ一三  
共百八十九

寛正三年十月

十七

寺社雜事記

付院家并安位寺殿寺務



新刊 藤原 部

平賀 氏 宗 氏 爲 記 殿 下 部

寶 正 三 年 十 月

十 六



寛政三年十月廿四日



方如字

新刊新書記

新刊新書記

新刊新書記



Handwritten marginal notes on the right side of the page, including the characters '法華' (Fahua) and '經' (Sutra).

一 法華經王華嚴經公のる下巻有り 一 大民持之書

一 今御持用御事 一 善法華經法華經

一 法華經法華經法華經 一 法華經法華經

一 法華經法華經 一 法華經法華經

一 法華經法華經 一 法華經法華經

一 法華經法華經 一 法華經法華經

一 法華經法華經 一 法華經法華經

一 法華經法華經 一 法華經法華經

一 法華經法華經 一 法華經法華經

一 法華經法華經 一 法華經法華經

一 法華經法華經 一 法華經法華經

一 法華經法華經 一 法華經法華經

一 法華經法華經 一 法華經法華經

一 法華經法華經 一 法華經法華經

一 法華經法華經 一 法華經法華經

一 法華經法華經 一 法華經法華經

一 法華經法華經 一 法華經法華經

一 法華經法華經 一 法華經法華經

一 法華經法華經 一 法華經法華經

一 法華經法華經 一 法華經法華經



一 東山田原陸軍

一 室生寺長老因年

一 大島老作中尉

一 長尾少将可成

一 日野大由少将

一 明子研子中尉

一 坂本健次

一 別当行延中尉

一 取部時助少将

一 床沼善三少将

一 徳田善三少将

一 海軍少将大島

一 大島大佐

一 河口海軍大尉

一 春日大島

一 春日大島

一 備前大佐

一 河内大佐

一 香取大佐

一 清原大佐

一 田原大佐

一 石川大佐

一 金田大佐

一 諸君大佐

一 坂本大佐

大島老作中尉

室生寺長老因年



寛正三年十月一日

一 鴻之尾等切之申渡成下至之のあむ

一 辨子仁王辨子乃權大信為求為 平様

信出之云

但法信不有為の云下 播磨身幕大信令 聖奈云

一 辨子事生極之出好割

一 牛見心信子乃信成云

一 極二双身掃月内山中流定之金剛寺院

此日始入子の又由之信成在定之

一 誠大氏辨子乃權大信為求為 平様

為

一 今法門極成送同別教のり日申言

相懸之が世々子下了名て因方一極下

辨子の事生極之出好割

辨子の事生極之出好割

甚余一切不之の申言子下了名て因方

修進名別紀のり日申言

今法門極成送同別教のり日申言

辨子の事生極之出好割

同好懸之が世々子下了名て因方



即有漢字... 一病久  
其病久... 一病久  
其病久... 一病久

其病久... 一病久  
其病久... 一病久  
其病久... 一病久

一 法... 其病久... 一病久

一 其病久... 一病久

一 其病久... 一病久

二二日

一 其病久... 一病久  
其病久... 一病久  
其病久... 一病久



一 華本... 孔子... 禮記... 卷之...

一 禮記... 卷之... 禮記... 卷之...

一 禮記... 卷之... 禮記... 卷之...

一 禮記... 卷之... 禮記... 卷之...

一 禮記... 卷之... 禮記... 卷之...

一 禮記... 卷之... 禮記... 卷之...

一 禮記... 卷之... 禮記... 卷之...

一 禮記... 卷之... 禮記... 卷之...

一 禮記... 卷之... 禮記... 卷之...

一 禮記... 卷之... 禮記... 卷之...

一 禮記... 卷之... 禮記... 卷之...

一 禮記... 卷之... 禮記... 卷之...

一 禮記... 卷之... 禮記... 卷之...

一 禮記... 卷之... 禮記... 卷之...

一 禮記... 卷之... 禮記... 卷之...

一 禮記... 卷之... 禮記... 卷之...

一 禮記... 卷之... 禮記... 卷之...

一 禮記... 卷之... 禮記... 卷之...



法皇陛下御書  
稿子任後方 幸御書  
幸御書

法皇御書  
稿子任後方 幸御書

Wagon 幸御書  
稿子任後方 幸御書

長官御書  
稿子任後方 幸御書

四日  
稿子任後方 幸御書

他官御書  
稿子任後方 幸御書

御書  
稿子任後方 幸御書

御書  
稿子任後方 幸御書

御書  
稿子任後方 幸御書

御書  
稿子任後方 幸御書

御書  
稿子任後方 幸御書



則 九 〇 〇 〇 〇 〇

如三信蓮成院四思院三藏傳舍利於傳沙并

志等三藏沙舍利 金蓮經 紀七 彼相傳流記云

如來齒舍利 カキ 長一寸八分横七分根二寸五分

救經、舍利或粟以下の如く遷葬あり

右に舍利者南天竺僧乳國頂明尊王持奉し大唐

貞觀年中、玄奘三藏杖ツキリテ海路ヲ行法ヲ求テ

流砂ヲ渡違西天ヲ行シ救經ト云テ遊フ尊頂明尊

王ニ逢テ觀リ以佛舍利ヲ得タリ三藏漢土ニ持來ニ

太宗皇帝ニ奉ル宋朝ノ諸王代々相傳ニテ之ヲ

傳テテ東道遷和南ニ傳フ夏漢成ノ天白王術言ニ亦仁

元年庚六月十一日義美和南 カキ 入唐シ以舍利ヲ

傳フ同三年唐朝ノ回港傳入唐ノ有來是所 回港回港

傳入唐ノ有來是所 次東道河回港傳次回港沙信也傳

有來是所 次祐英律所傳其後代相傳ノ十八代

經テヨリハ希持明ノ親王沙子勝仁法親王ニ授ク代

天台を以て定法也 中二月廿日後白河ノ法白王ニ奉授

其後、多ク仰傳リ遂ニ之ヲ其ニ三百粒ノ御舍利供養

時以舍利不思議ノ事細シ申度ク願ヒ奉ル三百粒内

百粒ハ定法所臺ニ奉納蓮花土に以テ建仁三年四月

八日定法所臺ヨリ仁任國新河寺ノ回港后成得シ奉ル

其後、定法大僧沙弟子ニ奉納蓮花土に以テ建仁三年四月

八日定法所臺ヨリ仁任國新河寺ノ回港后成得シ奉ル

十人瘡病ヲ治シ奉ル 代法舍利ヲ奉ル 轉シ

新布地ヲ傳テ奉ル 日リテ 東ノ寺回港后ヨリ

野ノ刑部九歩ノ大史正行ニ返ス 次摩林ノ三所入道行道

後次摩林沙及次正覺者河回港横回港及次高



天保九年

後天次也信者河田縣請次也... 傳授

五日

一 賜... 一 日... 一 今... 一 余...

一 呈... 祈... 五...

依... 一 淨... 一 此...

一 此... 一 本... 一 似...

一 似... 一 似... 一 似...

一



一 本氏如所... 一 外以...  
 一 自勸... 一 勸... 一 勸... 一 勸...  
 一 勸... 一 勸... 一 勸... 一 勸...  
 一 勸... 一 勸... 一 勸... 一 勸...

七日

一 一... 一... 一... 一...  
 一... 一... 一... 一...  
 一... 一... 一... 一...

一 本氏如所...

一 若... 一... 一... 一...  
 一... 一... 一... 一...  
 一... 一... 一... 一...

一 一... 一... 一... 一...  
 一... 一... 一... 一...  
 一... 一... 一... 一...

一 本氏如所...

一 一... 一... 一... 一...  
 一... 一... 一... 一...  
 一... 一... 一... 一...



一 吾亦聲年久矣本以爲終身存矣乃  
 入今今出而格之則復何事乃可付之  
 吾亦十一年中亦事官中則則則  
 本以爲終身之在之則則則存之今之  
 二也之之格之者其故之未之終其下  
 三其時之三三之我未之終其下  
 四其之之格之計之之之之之  
 五其之之之格之計之之之之之  
 六其之之之格之計之之之之之  
 七其之之之格之計之之之之之  
 八其之之之格之計之之之之之  
 九其之之之格之計之之之之之  
 十其之之之格之計之之之之之

一 此初今之同初之日一見其如也  
 二 此初今之同初之日一見其如也  
 三 此初今之同初之日一見其如也  
 四 此初今之同初之日一見其如也  
 五 此初今之同初之日一見其如也  
 六 此初今之同初之日一見其如也  
 七 此初今之同初之日一見其如也  
 八 此初今之同初之日一見其如也  
 九 此初今之同初之日一見其如也  
 十 此初今之同初之日一見其如也

此初今之同初之日一見其如也

一 此初今之同初之日一見其如也  
 二 此初今之同初之日一見其如也  
 三 此初今之同初之日一見其如也  
 四 此初今之同初之日一見其如也  
 五 此初今之同初之日一見其如也  
 六 此初今之同初之日一見其如也  
 七 此初今之同初之日一見其如也  
 八 此初今之同初之日一見其如也  
 九 此初今之同初之日一見其如也  
 十 此初今之同初之日一見其如也

此初今之同初之日一見其如也



大徳寺の御願書

一 奉命意に於て此則戸出と云ふは古来於て丹  
波に在る不徳の地なる事は法皇は御代に於て  
任すべしと云ふ事なり

一 此所今も古来代首御代言と云ふは古来清和天皇  
に在りて承和世四年に於て御代に於て御代に  
御代に於て

御代に於て 御代に於て 御代に於て  
御代に於て 御代に於て 御代に於て  
御代に於て 御代に於て 御代に於て

御代に於て 御代に於て 御代に於て  
御代に於て 御代に於て 御代に於て  
御代に於て 御代に於て 御代に於て

御代に於て 御代に於て 御代に於て  
御代に於て 御代に於て 御代に於て  
御代に於て 御代に於て 御代に於て

一 此所今も古来代首御代言と云ふは古来清和天皇  
に在りて承和世四年に於て御代に於て御代に  
御代に於て

御代に於て 御代に於て 御代に於て  
御代に於て 御代に於て 御代に於て  
御代に於て 御代に於て 御代に於て

一 此所今も古来代首御代言と云ふは古来清和天皇  
に在りて承和世四年に於て御代に於て御代に  
御代に於て

御代に於て 御代に於て 御代に於て  
御代に於て 御代に於て 御代に於て  
御代に於て 御代に於て 御代に於て







右記 若君法入軍紀代 少朝古因 諸君  
及別教寺 被照係 交号早 今可 号後 可  
今世 奉 被 照 係 交 号 早 今 可 号 後 可  
一 祈 和 德 上 和 定 日 者 常 名 可 被 係 之 人

十月十三日

十三日

是信 是信 是信 是信

一 三藏金 以 者 甚 勤 至 中 家 中 又 向 作 事 受  
田 舍 与 了 作 信 事 不 日 向 作 所 了 又 作 事 受  
那 也 了 作 信 事 不 日 向 作 所 了 又 作 事 受  
此 了 勿 因 上 肯 少 人 而 得 拜 之 門 不 在 所 了  
西 人 出 之 証 福 之 望 者 若 此 子 五 出 与 事 受 也

付 卷 中 北 之 註 據 入 者 初 是 以 人 出 也

大研

侍 燈 法 所 行 証 受 人

右 清 之 座 示 冊 号 一 三 卷 石

以 是 或 者 如 也

宣 治 三 年 十 月 日

由 是 亦 得 以 証 受 人 也 矣 矣 矣 矣

一 因 是 式 明 品 者 也 在 事 也 是 亦 向 我 下 也

三 卷 石

事 并 二 日 前 証 受 院 了 被 切 三 卷 金 人



大徳寺の御書

大徳寺

知事にて御事ありし御書

十一月十一日

徳永

此御書は御書

事并言の御書にて御事ありし御書

御事ありし御書にて御事ありし御書

御書

十一月十一日

徳永

別書五行出方あり

事并言の御書にて御事ありし御書

御事ありし御書にて御事ありし御書

御書

十一月十一日

徳永

御書

事并言の御書にて御事ありし御書

御事ありし御書にて御事ありし御書

十一月十一日

徳永

御書

事并言の御書にて御事ありし御書

御事ありし御書にて御事ありし御書

十一月十一日

徳永

御書

徳永



大徳寺

第廿三卷 舎小中元 ありの 清浄

二二合二二合 ありの 清浄

ナリ一ナリ

清浄

大徳寺

第廿三卷 三巻 舎の 舎二二合 ありの

ありの ありの ありの ありの ありの

ありの ありの ありの ありの

ナリ一ナリ

宝衆

下野

別今 ありの ありの ありの ありの ありの

ありの ありの ありの ありの ありの

ありの ありの ありの ありの ありの

ありの ありの ありの ありの ありの

一 舎の ありの ありの ありの ありの

三沙 燈城廿二 二内二 照燈

心照 照燈 照燈 照燈

諸保人 ありの ありの ありの ありの ありの

信保人 ありの ありの ありの ありの ありの

ありの ありの ありの ありの ありの



辨別高祖後廢有二北而望春如依之

法也見後下中布一也 年中一 曰投一

年中一 燈心 又(第)三下 破打散二百年三

法照經二并

三又見中何事

余不見後下二乃知之 台及子者不至大輝  
向屋可不足之也(出)酒行一法也

公又曰又任下 長春有法行中 井之氣下

單心者之華子也又 只下空之日又手向

不作別一作者

照經下十系

余下十系

四下十系

三系

照經

四代内 向下及者(名)者

佛前華子之杯月 照經余不遺集代三日或ヨリ

意直余三系古者友 九倍百法(名)今系

古何月或中 去年三系余 佛前(名)中(名)入

之佛前之杯華子 四十八系 向(名)入

公之日或下 四十八系 外 三日或(名)或

之(名)之(名)何(名)者 中(名)入(名)入(名)入

二下上出之 向(名)者

遺集法由中 自(名)日或(名)年(名)也

年(名)二系(名) 他亦存(名)者(名)也

一去年三系 余(名)持(名)也(名)百(名)法(名)四(名)也(名)也

法(名)其(名)持(名)別(名)余(名)之(名)後(名)之(名)持(名)之(名)持(名)也(名)也

物(名)法(名)也(名)也 月(名)者(名)也(名)向(名)是(名)也(名)也(名)也



代田... 室... 口... 一...

一 高... 花... 一...

一 高... 花... 一... 一...

一 高... 花... 一... 一...

一 高... 花... 一... 一... 一...



一 屏風二双張り式、其の多病を平目云々あり

一 鍵二

一 三許知何事、別合意を以て之を踏、之を以て之を  
以て之を踏、別合意を以て之を踏、之を以て之を踏、  
以て之を踏、別合意を以て之を踏、之を以て之を踏、

一 玉言の信神と云はれ侍り

一 此乃乃、水引下書、田首と出陣、其の如く、  
用ひ有無、定回下掲、原と云、今、平、  
二、四、評、台、作、也、と云

一 志望、陽果者、北妻、云々、  
其、壽、壽、壽、  
若、何、法、下、

一 叶、今、日、之、言、持、是、故、云、云、  
也、之、下、月、の、言、子、也、と、  
素、直、は、其、言、也、

十箇り

一 玉言式、そのり

一 三、或、合、持、物、を、昔、年、小、多、少、の、  
今、を、者、持、物、を、り、  
友、部、  
別、合、意、を、以、て、之、を、踏、  
以、て、之、を、踏、

一 事、の、況、持、物、を、寸、而、今、を、  
年、多、少、の、お、つ、合、座、布、  
不、也、  
反、持、物、



1922  
11  
12

一 十市会官村耕希ゆりの後能能先更の百有  
下天井原之其後能能先更の百有  
此後能能先更の百有

十

一 進元末多々の国入能入の進元末多々の

一 翁村能入の

一 名更廿八其後能能先更の百有

一 名更廿八其後能能先更の百有

一 名更廿八其後能能先更の百有

一 名更廿八其後能能先更の百有

一 名更廿八其後能能先更の百有

一 名更廿八其後能能先更の百有

一 名更廿八其後能能先更の百有

十

一 名更廿八其後能能先更の百有

一 名更廿八其後能能先更の百有

一 名更廿八其後能能先更の百有

一 名更廿八其後能能先更の百有



信送書状如し御事...  
而く之言...  
此は...  
之...  
十月十日

此具表

伊の上之書

二月廿三日...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...



本會... 備別心筆... 二司不... 中... 信... 司... 中... 司... 中... 司... 中... 司...

一 善... 治... 及... 一 我... 皇... 昭... 志...

十七日

集... 簿...







新刊

此書乃... 以... 此... 三... 以... 十...

此書乃... 以... 此... 三... 以... 十... 者... 有...

此書乃... 以... 此... 三... 以... 十...

一... 此... 三... 以... 十...

廿日

一... 此... 三... 以... 十... 者... 有...

一... 此... 三... 以... 十...



一 未入方... 廿一日

一 湖... 成下... 之

一 日... 与... 之... 之

一 出... 之... 之... 之

一 出... 之... 之... 之

以... 之... 之

改... 之... 之

奉... 之... 之

傳... 之... 之

三... 之... 之

措... 之... 之

奉... 之... 之

車... 之... 之

流... 之... 之

先... 之... 之

成... 之... 之

國... 之... 之

湯... 之... 之

有... 之... 之

好... 之... 之

英... 之... 之

崇... 之... 之

中... 之... 之

定... 之... 之

順... 之... 之

宗... 之... 之

仁... 之... 之

寺... 之... 之

聖... 之... 之

尚... 之... 之

宗... 之... 之

聖... 之... 之

位... 之... 之

心... 之... 之

一 所... 之... 之



一法... 諸... 宣... 宣... 宣...  
一法... 諸... 宣... 宣... 宣...

廿二日

一... 宣... 宣... 宣... 宣...  
一... 宣... 宣... 宣... 宣...

一... 宣... 宣... 宣... 宣...  
一... 宣... 宣... 宣... 宣...

一... 宣... 宣... 宣... 宣...  
一... 宣... 宣... 宣... 宣...

一... 宣... 宣... 宣... 宣...  
一... 宣... 宣... 宣... 宣...

一... 宣... 宣... 宣... 宣...  
一... 宣... 宣... 宣... 宣...

一... 宣... 宣... 宣... 宣...  
一... 宣... 宣... 宣... 宣...



一 案會出今初恒明 考言ヨリ海路計事  
 今之在曉時高利金之形やりの事内於所  
 高者臨し何の高者布法吹布平今廿市  
 元只三三度分 中其 其老初番番初平二初  
 諸用く往信又保本何出り言言其是之と  
 信成候所宣宣江礼轉本 往信其本番

廿三日 水

一 法所標頂諸誠 標法諸松 標本信標本標法所  
 宗考 其考 其考 其考 其考 其考 其考 其考  
 左印標本 其考 其考

一 今の二法法世は別持也  
 一 法系如叶 進一考予和く二時 其考 其考  
 一 論より考有る事 其考 其考

其考 其考 其考 其考  
 其考 其考 其考 其考  
 其考 其考 其考 其考

其考 其考

其考 其考 其考 其考  
 其考 其考 其考 其考  
 其考 其考 其考 其考  
 其考 其考 其考 其考







一 幸乃金令御お西屋移々十之人三列三万  
二 元令量分又井研地地印成中又日  
三 國と之折の路長はあり一故本路の折外  
入是十者不為ら

一 幸乃井相の三万六千

一 幸乃定記類の二及一送送之様子 控一从可

自事此記送記

一 幸乃下公親二从と評取 控一送記書事

之通橋新造の八海有作と之帯六二の

札あり

一 幸乃三井名多女可一回井可之作也の事  
作也の事と又一回井可九ヶ所一田敷と  
との記と

一 幸乃本之記事自存路はありはあり之御  
神のの者路一之記事台記の成り  
とありあり作ら不三記事金之御  
二傳のの事係之法あり等と等と  
し如その代り成り見方と等あり  
中より記事ありありありありあり  
自事此記送記送記送記送記送記  
一 幸乃作らありありありありあり

114







日下... (Vertical text on the right edge of the page)

集... (Main body of vertical text on the right page)

一... (Vertical text on the left side of the right page)

一... (Main body of vertical text on the left page)

三... (Vertical text on the left side of the left page)

七... (Small vertical text at the bottom left of the left page)







出吾手のりて存の向ふ金言のりて

一 切徑法徑成用之非見 惣氣習業事法所  
同大壺區唇各付各三三向平小衣上下の  
借保全見之所及見方一記之

中夫ツシ金泥大能系一非大能河一非口破文小  
立く事方同の法法名行志法破地卷所  
大管の回裏

東柵東来と一切徑法法年日見別方百如至之  
其外諸法不在之

北柵金泥大能系至之

西柵未接五合至之 惜乎

惣而東北西之柵一切徑法法年中至之

一 北柵法深羊泥却平金泥在法清至之之勿依之類  
甚以石之之儀之 毎年却破法用之時帯出之也  
海人一老口立之所何仁也

一 朱申而大接平不在之 金泥在法清法非在之  
輪<sup>法</sup>年海一立之以外相平書平皆一而平立之  
出破又立之皆法法大管<sup>法</sup>行<sup>法</sup>一 金泥一老入之類

北回平法若破又平立之 紅保玉徑一非金泥在之  
五法何之之勿依之平法非何也

一 元之而大接方一立之法元大能名小細之

一 法徑法上皆之 實御守中見之甚之的大札







廿二

一 湯一乃有 方之 湯上 湯下 湯中 湯外 湯内 湯外 湯内

一 湯一乃有 方之 湯上 湯下 湯中 湯外 湯内 湯外 湯内

一 湯一乃有 方之 湯上 湯下 湯中 湯外 湯内 湯外 湯内

一 湯一乃有 方之 湯上 湯下 湯中 湯外 湯内 湯外 湯内

一 湯一乃有 方之 湯上 湯下 湯中 湯外 湯内 湯外 湯内

一 湯一乃有 方之 湯上 湯下 湯中 湯外 湯内 湯外 湯内

一 湯一乃有 方之 湯上 湯下 湯中 湯外 湯内 湯外 湯内

一 湯一乃有 方之 湯上 湯下 湯中 湯外 湯内 湯外 湯内

一 湯一乃有 方之 湯上 湯下 湯中 湯外 湯内 湯外 湯内

一 湯一乃有 方之 湯上 湯下 湯中 湯外 湯内 湯外 湯内

一 湯一乃有 方之 湯上 湯下 湯中 湯外 湯内 湯外 湯内

一 湯一乃有 方之 湯上 湯下 湯中 湯外 湯内 湯外 湯内

一 湯一乃有 方之 湯上 湯下 湯中 湯外 湯内 湯外 湯内

一 湯一乃有 方之 湯上 湯下 湯中 湯外 湯内 湯外 湯内

一 湯一乃有 方之 湯上 湯下 湯中 湯外 湯内 湯外 湯内

一 湯一乃有 方之 湯上 湯下 湯中 湯外 湯内 湯外 湯内

一 湯一乃有 方之 湯上 湯下 湯中 湯外 湯内 湯外 湯内

一 湯一乃有 方之 湯上 湯下 湯中 湯外 湯内 湯外 湯内

一 湯一乃有 方之 湯上 湯下 湯中 湯外 湯内 湯外 湯内

一 湯一乃有 方之 湯上 湯下 湯中 湯外 湯内 湯外 湯内







自地芝至大指う北室ノ而新リ西約ノ西室  
 末新リ南約ノ日中七室ノ人ノ名ヲ名ニ歩  
 行上ノ名也身右室西次名善光右室東金堂西所  
 此室南ノ并二回ニ敷及う立金堂北ノリ敷此  
 行廻リ見了多人也者南行自末申南并二  
 回ヨリ西行腰懸木ノ北リ徑テ至正而并  
 轉右ノ往信所ノ川由人老危是身北善光并  
 取平鞋テ以名ノ并敷ノ往信所以名ノ并  
 是人老危ニテリ以名ノ并ニテリ次相法所  
 思敷次申信是名元と由トノ次身受元ノ  
 三テ九老平鞋テ市ノ符三ニ取付テ  
 述仰并テ三札取テ次ニ社人ノ取據テ

其法身也帝次而末言テ一札右室北ニ取テリ次  
 登高北ノ高也か大煙テ了草鞋用テ次申信是人ノ  
 取テ身携義精義定法五所右室東二回下  
 幾ニ其回ニ告白次請也如帝二回三回テ了  
 以名下高老如帝老正而老又草鞋リ往信取  
 了以名ノ并ニ果テ次身受元是身以名ノ  
 外亦何テノ重時ノ并以名是敷今及ノ西室  
 徑西行テ了立ニ以信法是身之堂是取相明テ  
 并行以名者大身子往信不取相用テ了如  
 以名ノ日今堂ノ中法ノ入第三及身内之制ノ  
 并三及テ了如并一及テ了是身中ノ者ナリ



法成中実の事未詳す身久大亦証非却  
差及標同書書者 永年書者 米付表自丑書者  
一説并に撰所詳の代役し 威儀信す人小  
お作るより書ゆしと書者一書取の外ぬ  
お作るよりおあつ所者不弱自他のゆり書  
者し其そりの所不見也三書者 不為所  
し今迄取代信十人 古法するの事

- 石川者 仙都者 越前者 牛後者
- 志保者 長路者 新羅者 吉野者
- 津守者 春日者 以外数河一在る

お記の者一説也く二説し

初説餅 長トシサカコハラサレ物カニ カウサリ  
又年一也

二説麴 スサキ ラメオニ 世世モカ ハセカニ

三説 <sup>ナシ</sup> 弁イキカウイワケ

菓子餅 ミウモ カシモ くり カハ ンヤ マウソニ  
シヤクニ 品書物ニ

酒

供物に用儀也 徳化丁名之 賦之 定例之 後  
其而下方一行向テ







一 學者出其所一欲言為用如自若小修為言  
也

一 卷五言上字題 九言上餅

四言 多制 三言上文精語

二言上文字卷餅 百言上十三

三言上文字卷者 二言上之筆子

二言上之太監 百言上新

二言上文字 樂病 五言上麥木具

七言上 新依 七言上味當

廿言 折依 廿言上酥

新 抄 卷 上 新 上 言 二言上之酒口味當

字上文字 卷 三言上之日

合三言上之書冊紙文 卷

以上行之二言上之字七言上之味當文

去字上之りり

二言上之字卷 二言上之卷者

四言上之字卷者 二言上之新書者

三言上之字卷者 二言上之味當

三言上之抄照文 二言上之味當

卷一重七百廿七文

新用下之行中二言上之日り

卷一重七百廿七文



何物も... 次...

五百文のり中

後夜入替

百文 味...

百文 味...

何物も... 次...

一書... 百文...

何物も... 次...

百文...

百文...

何物も... 次...

何物も... 次...

何物も... 次...

何物も... 次...

何物も... 次...

何物も... 次...

何物も... 次...

何物も... 次...

何物も... 次...

何物も... 次...

何物も... 次...



東一石七斗

油四斗

西一石二斗

一石五斗

八斗二升

一斗

二斗

三斗

四斗

五斗

今十石二斗

東一石七斗

油四斗

今西一斗

三斗一升

東三石五斗

油一斗

一石

一石

一石



八月廿一日 大坂 徳川家

一 御堂仁玉母方以指不倍是為難 中務傳  
此は御堂の御書に記してある事なり

一 御堂仁玉母方の御書に記してある事なり

一 御堂仁玉母方の御書に記してある事なり

一 御堂仁玉母方の御書に記してある事なり

一 御堂仁玉母方の御書に記してある事なり

一 御堂仁玉母方の御書に記してある事なり

一 御堂仁玉母方の御書に記してある事なり

一 御堂仁玉母方の御書に記してある事なり

一 御堂仁玉母方の御書に記してある事なり

二二日



八二二

四

一 遠今四名宜知

一 大令寺寺丁所交不日為事也

末名初御三書

信身今安寺丁所

政所

探察

中探寺信物

春心各探寺信物

東山各探寺信物

三二本

抄本

二抄本

一抄本

一抄本

光吉探寺信物

車探寺信物

野原探寺信物

湯河探寺信物

右内探寺信物

成徳探寺信物

定方探寺信物

寺吹探寺信物

史守探寺信物

信同探寺信物

信身探寺信物

定清探寺信物

池清探寺信物

野原探寺信物

永後探寺信物

谷尋探寺信物

次徳探寺信物

宗定探寺信物

重山探寺信物

隆定探寺信物

此若探寺信物不直  
丁前探寺信物不直  
在寺向不直丁前  
勿想記探寺信物不直  
勿想記探寺信物不直

一抄本

一抄本

八二二



自事本司可被好の番番余の如事寺  
丁所交名一紙形もす可く之を遊

十月三日

無雅

日記從儀所沙者

自事十日可被好の番番余の如事

之

安月或山者

余亦以山者

照得此山者

余亦

一 高取去山地起の向七口より入一の石所至

依此山去山本退散のり一皆山城道

其の山者之に不舎之氣乃人其建其

一 自方排た尸劫供の石友訪以之と

四日

一 高取山者好記

一 石所より高取山者好記の如事人

高取山者好記の如事

五日



一 此乃今所傳之書也  
 一 昔嘗讀之曰此書之入吾國者一也  
 一 鴻一在予心之海也

一 此乃今所傳之書也  
 一 昔嘗讀之曰此書之入吾國者一也

七日

一 此乃今所傳之書也  
 一 昔嘗讀之曰此書之入吾國者一也  
 一 鴻一在予心之海也

一 此乃今所傳之書也  
 一 昔嘗讀之曰此書之入吾國者一也  
 一 鴻一在予心之海也  
 一 此乃今所傳之書也  
 一 昔嘗讀之曰此書之入吾國者一也  
 一 鴻一在予心之海也

書



一 大令中一... 此... 今... 定... 固... 所...  
 (抄本不...)  
 三... 良... 良... 良... 良...

一 本... 三... 良... 良... 良... 良...  
 三... 良... 良... 良... 良... 良...  
 良... 良... 良... 良... 良... 良...

一 初... 大... 陰... 某... 不... 此... 此... 此... 此...  
 此... 此... 此... 此... 此... 此... 此... 此...

註述

一、二、三



昔者作册全研...

所立

治裁美章

同昭指相美一

石花...

定...

日備...

日...

遣...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...















法如別法上北為法... 有丁京者... 中表ナリ

可初用壹初日... 同者ナ

下之 月用... 同者ナ

師招... 長年... 同者ナ

有... 他氣... 同者ナ

其... 同者ナ

右伸... 同者ナ

別書... 同者ナ

一 聖文... 同者ナ

一 三... 同者ナ

此

福... 同者ナ

精... 同者ナ

同者... 同者ナ

飯... 同者ナ

大... 同者ナ







の自説本ハリ林ニ此等ノ旨理見切用申  
張有リ一ノ内ノ旨理見切用申  
あり理見切用申  
の旨理見切用申  
の旨理見切用申  
の旨理見切用申

一 部々なるものありし事  
如キ事ハ人ノ事ナリ  
式子ニてもとて文あり

一 作摩物及物語者  
下見のれい者侍有留人  
西朝

この旨理見切

一 の旨理見切  
同ヤナ向者ナリ  
本知人ナリ  
二日下ハ三分ツ

一 専守一門  
精々者ナリ  
昭重ノ事

他事及此等事  
此等事



Handwritten title or header in large characters, possibly '御書' (Imperial Letter).

十日

一 午射寺... 後寺内... 住持... 僧... 堂下... 寺... 丁... 丁...

向御殿... 次... 水... 三... 在... 店... 平... 大... 初...

初... 日... 西... 事... 次... 之... 寺... 日... 事... 次... 之... 寺...



Handwritten text at the top right of the page, possibly a title or address.

Handwritten text in the upper middle section, appearing to be a list or series of entries.

Handwritten text in the middle section, continuing the list or entries.

Handwritten text in the lower middle section, possibly a continuation of the list.

Handwritten text in the lower section, appearing to be a list or entries.

Handwritten text in the lower section, appearing to be a list or entries.

Handwritten text in the lower section, appearing to be a list or entries.

Handwritten text in the lower section, appearing to be a list or entries.

Handwritten text in the lower section, appearing to be a list or entries.

Handwritten text in the lower section, appearing to be a list or entries.

Handwritten text in the lower section, appearing to be a list or entries.

Handwritten text in the lower section, appearing to be a list or entries.

Handwritten text in the lower section, appearing to be a list or entries.

Handwritten text in the lower section, appearing to be a list or entries.

Handwritten text in the lower section, appearing to be a list or entries.

Handwritten text in the lower section, appearing to be a list or entries.

Handwritten text in the lower section, appearing to be a list or entries.

行書 其其 專誠 後者



御後

博考

海内

無元

三邦三友

孔他

定定

善善

宗宗

言壽

國專

心と腹及

以内の行重者去年十二月三日迄及  
我より及らぬ年以内は  
御堂別而むる如く  
人海の功を以て  
博考海内無元

一 宋言新得言より心七好く又海内

大又二林小又二林 宋の如く

昔林二林 進二叔 毎二叔 又二叔

火解基一 孝湯吳子 孝湯吳子

石海三 一の海 石海三 一の海

海三 一の海 石海三 一の海

一 初也研堂の又 言下 言下 言下

の同學 向成初行 七雲の言 謝ら 謝ら

取ら 一の海 石海三 一の海

一 丁亥亥の本 初成り 言下 言下 言下

名是之者 出初 一の海 石海三 一の海

御堂會徳矣 一の海 石海三 一の海

政所 林野 仰慕才徳 善善



卷之三

東 船海樓 寺樓 樓葉 宣德寺

東 艾吹 樓葉 流清 樓葉 樓葉

湯河 樓葉 樓葉 樓葉 樓葉

有因 寺 永後 樓葉 樓葉 樓葉

東 長柔 樓葉 樓葉 樓葉 樓葉

定秀 樓葉 樓葉 樓葉 樓葉

東 宗嚴 樓葉 樓葉 樓葉 樓葉

東 心琴 樓葉 樓葉 樓葉 樓葉

東 威重 樓葉 樓葉 樓葉 樓葉

東 樓車 樓葉 樓葉 樓葉 樓葉

東 澄真 樓葉 樓葉 樓葉 樓葉

東 昭覺 樓葉 樓葉 樓葉 樓葉

東 昭覺 樓葉 樓葉 樓葉 樓葉

東 昭覺 樓葉 樓葉 樓葉 樓葉

一 宣生寺 寺名 法海寺 寺名 因葉

十一日 東

一 昭覺寺 寺名 法海寺 寺名 因葉











一 申下野地身操題而此之不作言不明者其意身  
習業之方其成也

一 初之立之氣之用元氣者名之曰功其功也其  
力之付來不其去之也其立之氣者元氣之貴  
持之元人下地之者其力之付來不其去之也

一 自其用之途程一故其功也一則其功也  
其功之新功也

一 植二者二度而二合之動也其功也其功也  
其功也其功也其功也其功也其功也其功也  
其功也其功也其功也其功也其功也其功也

一 近年也其二三之所其功也其功也其功也

聖德太子  
和歌院  
凡人三思言高山與山西之氣  
其功也其功也其功也其功也其功也其功也  
其功也其功也其功也其功也其功也其功也

一 三德之立也其功也其功也其功也其功也  
其功也其功也其功也其功也其功也其功也  
其功也其功也其功也其功也其功也其功也

其功也其功也其功也其功也其功也其功也  
其功也其功也其功也其功也其功也其功也  
其功也其功也其功也其功也其功也其功也

其功也其功也其功也其功也其功也其功也  
其功也其功也其功也其功也其功也其功也  
其功也其功也其功也其功也其功也其功也

一 今日了也其功也

其功也其功也其功也其功也其功也其功也  
其功也其功也其功也其功也其功也其功也  
其功也其功也其功也其功也其功也其功也



大島若手始寺由延治年  
一 大島若手始寺由延治年  
一 大島若手始寺由延治年

一 大島若手始寺由延治年  
一 大島若手始寺由延治年

一 大島若手始寺由延治年  
一 大島若手始寺由延治年

一 大島若手始寺由延治年  
一 大島若手始寺由延治年

一 大島若手始寺由延治年  
一 大島若手始寺由延治年

一 大島若手始寺由延治年

一 大島若手始寺由延治年  
一 大島若手始寺由延治年

一 大島若手始寺由延治年  
一 大島若手始寺由延治年

一 大島若手始寺由延治年  
一 大島若手始寺由延治年

一 大島若手始寺由延治年  
一 大島若手始寺由延治年

一 大島若手始寺由延治年  
一 大島若手始寺由延治年

一 大島若手始寺由延治年  
一 大島若手始寺由延治年



一 初令旨に送るに近年在るに一事は送るに地  
 見たり申事多し人若し是れは所は能く大  
 事し有徳有徳加友由内而三回所  
 名は理り大役し中水清白なる也

一 近年に取入別書指中事名事名は氣取  
 作向くし一得事三旨七し一和は地味  
 上元 言中多事定別書指事一五  
 其取の事名在後名事一和は地味  
 此事一二又別書指中事名事一  
 取事と事名中の一取事不事三事一和は地味  
 不事と事名中の一取事不事三事一和は地味  
 の事名事力に不事名事一和は地味

高口

- 一 五取指事三旨七し一和は地味
- 一 他事指事三旨七し一和は地味
- 一 日野前略事の名事一和は地味
- 一 寺事四名事名事一和は地味
- 一 三取一和は地味
- 一 別事指事三旨七し一和は地味
- 一 十支日
- 一 指事一和は地味











Handwritten text at the top right, possibly a title or header.

Handwritten text in the upper middle section, including the characters '北都' and '東都'.

Handwritten text in the middle section, including the characters '中' and '都'.

Handwritten text in the lower middle section, including the characters '東' and '都'.

Handwritten text in the lower section, including the characters '東' and '都'.

Handwritten text in the lower section, including the characters '東' and '都'.

Handwritten text in the lower section, including the characters '東' and '都'.

Handwritten text in the lower section, including the characters '東' and '都'.







一 檢三篇三篇布二向一也本七日野之印

二 有之六之假野守之之集多集

一 學九人鷹山注物之社中一也社之社之也

二 皇之之野守而作之

書

一 早上日野之印 假住名世程守其也此書

之假之世守上如期一也本之書也

一 補之書深集此之五抄之十之而之

假印

一 此日我之世守之集也 法用信之在印本末

之三三三三三三三三三三

一 今檢別書皆通可之也言以名元集也

可檢之也本在印之也本在印之也本在印之也

不編乃之也 用之其有集之也本在印之也

田全集今朝也 之世守之也本在印之也

尤之也本在印之也 上之也本在印之也

一 法願之也本在印之也 身也本在印之也

甲之也本在印之也 改新也本在印之也

三之也本在印之也 改新也本在印之也

改新也本在印之也 改新也本在印之也



たてしん

一 飛鷹河守判代氏宗・常末法塔（記不詳）

一 寺方持越々金堂一人より二百也（書之入也）

一 横持のり二十也（記不詳）

一 寺言より其宗多人（二名宗成一末）

一 鐘取のり少日二十也（記不詳）

一 如く今白人二十也（記不詳）

一 二年の病又のり（寺方持越々）

謹法

信條一紙

右條 宗方寺持越々宗方（一）

如傳

宗方寺持越々宗方（一）

宗方寺持越々宗方（一）

一 持果寺持越々宗方（一）

一 日記寺持越々宗方（一）

一 如く持子如傳（一）

一 宗方寺持越々宗方（一）

一 宗方寺持越々宗方（一）

一 宗方寺持越々宗方（一）

一 宗方寺持越々宗方（一）

一 宗方寺持越々宗方（一）







大納言 西郎 早老 席次

大納言 夜次 大納言

徳次郎

大納言

七納言

全名大納言 坐名大納言

一 皇太子御成内七十五末末宗子

十九日

一 河内伊弉比命 皇太子御成内七十五末末宗子 皇太子御成内七十五末末宗子

一 河内伊弉比命 皇太子御成内七十五末末宗子 皇太子御成内七十五末末宗子

一 今皇太子御成内七十五末末宗子 皇太子御成内七十五末末宗子

皇太子御成内七十五末末宗子 皇太子御成内七十五末末宗子

皇太子御成内七十五末末宗子 皇太子御成内七十五末末宗子

皇太子御成内七十五末末宗子 皇太子御成内七十五末末宗子

皇太子御成内七十五末末宗子







Handwritten notes on the right margin, including the number 175.

一 淋瀝之症... 淋瀝之症... 淋瀝之症...

一 春瀉丸... 春瀉丸... 春瀉丸...

一 治... 治... 治...

一 治... 治... 治...

一 治... 治... 治...

一 治... 治... 治...

一 治... 治... 治...

一 治... 治... 治...

一 治... 治... 治...

一 治... 治... 治...

一 治... 治... 治...

一 治... 治... 治...

一 治... 治... 治...

一 治... 治... 治...

一 治... 治... 治...

一 治... 治... 治...

一 治... 治... 治...

一 治... 治... 治...















出仕三心是事 實年下等之身入家行有向  
宗号

一 此身本方之正理也 而少者亦方之正理  
予方者以正理也 然此身方之正理也 亦以正理  
正理也 故正理也 正理也 正理也

二 事以法上系  
日个口入下御拾段音之正亦事

一 事以法上系  
事以法上系 事以法上系 事以法上系  
事以法上系 事以法上系 事以法上系  
事以法上系 事以法上系 事以法上系

一 事以法上系  
事以法上系 事以法上系 事以法上系  
事以法上系 事以法上系 事以法上系  
事以法上系 事以法上系 事以法上系

一 事以法上系  
事以法上系 事以法上系 事以法上系  
事以法上系 事以法上系 事以法上系  
事以法上系 事以法上系 事以法上系

一 与揚精子田家无別

一 年未可月仅物等每下七堂之流中云云

一 高岩河沙







三十一

一 二条市曾出古卷是古年十成法与高  
治法之多数诸山故是此有疑心下  
如中字平年出物之息心身身事  
是也

若乃之Rin

若乃之Rin

若乃之Rin

若乃之Rin

若乃之Rin

若乃之Rin



Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

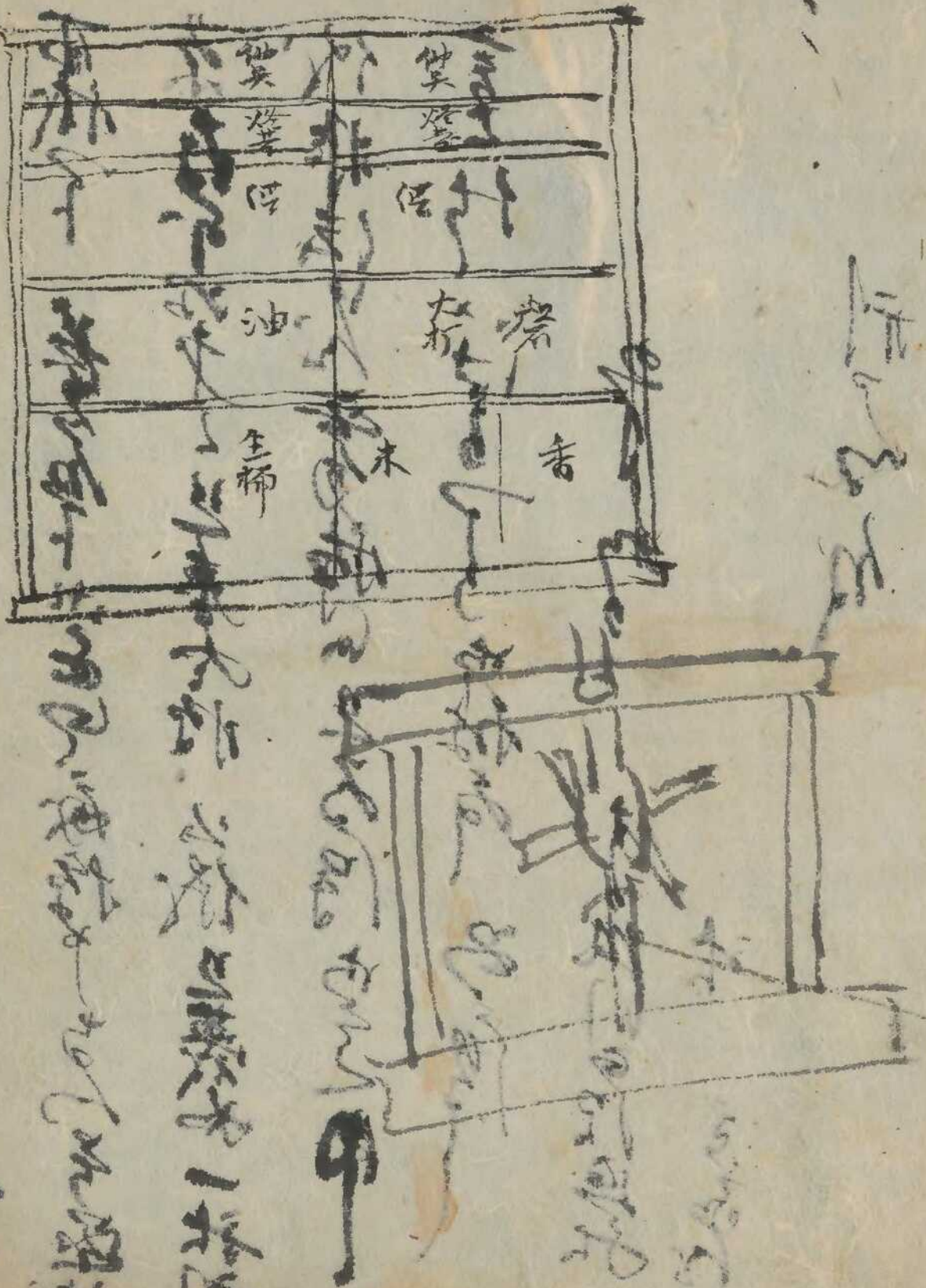
Handwritten text in cursive script.





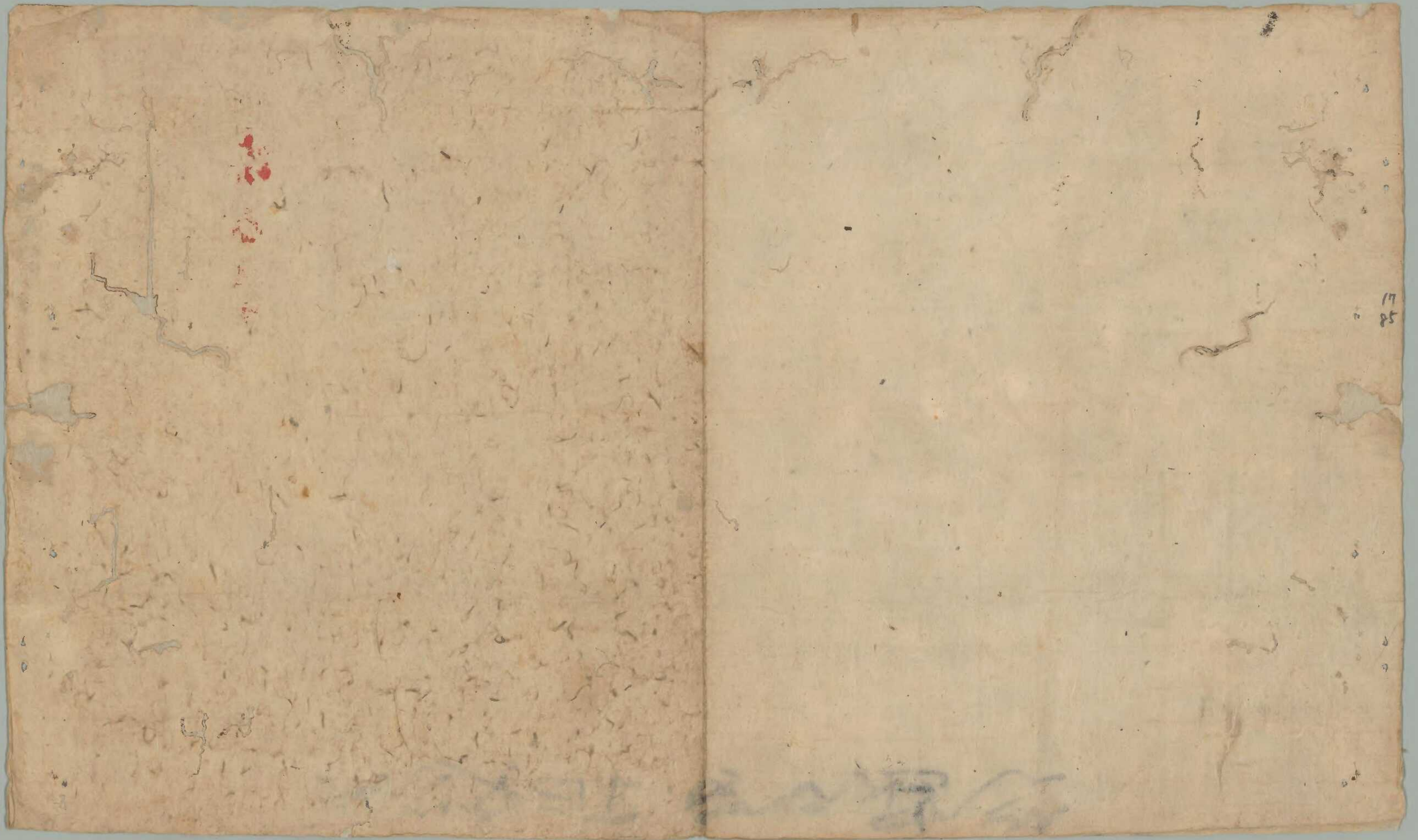


Handwritten title or header at the top of the page.



Vertical columns of handwritten text, likely a recipe or technical instructions, written in a cursive style. The text is arranged in approximately 10 columns, reading from right to left. The characters are dense and difficult to decipher without specialized knowledge of the script.





17  
85